

今回は、津市河芸図書館です。河芸の町民の森公園の奥にあります。男女共同参画が盛んな地域だけに、他にも参考となる図書がたくさんあります。一度のぞいてみてください。

☆市内在住・在勤・在学の方は、どなたでも借りられます。(図書館ごとにカードを作る必要があります。)

☆紹介の本は、市内の他の図書館でも、所蔵していることがあります。

☆お近くの図書館に本がない時でも、取り寄せてもらって借りる方法があります。

詳しくは、津市図書館ホームページ(<http://www.tosyo.city.tsu.mie.jp/>)または、図書館の受付窓口にお尋ねください。

現場発 スローな働き方と出会う

田中夏子・杉村和美 著
2004年 岩波書店

スローワークとは、人間が大事にされる働き方のことです。農村女性の仕事起こし、女性からの地域介護事業の立ち上げなど、女たち男たちの実践と模索が、多く取り上げられています。

女たちが語る阪神大震災

ウィメンズネット・こうべ 編
1996年 木馬書館

「防災を女性の視点で」という言葉がようやく認識され始めてきました。けれどもこの本からは、「女性」と一括りにせず、いろいろな立場の女性に合った支援が必要だとわかります。

できれば幸せに働きたい ～働く女(ひと)の身の振り方～

日本経済新聞生活情報部 編
2003年 日本経済新聞社

今日、女性はますます非正規雇用になり押しやられ、労働環境は悪化しています。その現実と突破口を、多くの事例から示してくれる本です。

男の料理きほん塾

～和・洋・中・韓のおかずから酒の肴まで105品～

別冊エッセ
2003年 扶桑社

手元の写真がわかりやすくたくさん載っていて、初めてでも安心して料理できそう。「調理の物差し」「料理用語」では、「いまさら聞けない」ということも丁寧に解説されています。

編集後記

☆新たな仲間を迎え、自分の未知の分野・視点で情報紙づくりができ、勉強になりました。皆様の声が新たな紙面を作ります。ご意見・ご感想をお寄せください。
佐藤ゆかり

☆私、今回初めて「つばさ」の編集に参加させていただき、編集する楽しさと難しさに戸惑いながら、先輩編集員さんと作らせていただきました。

小林小代子

☆今回より、「まちを元気にする男女(なかま)たち」シリーズを始めます。皆様のお住まいのまちでステキな仲間を是非ご紹介くださいますよう、お待ちしています。

森田 寛

あなたへの手紙

昨年度、津市男女共同参画フォーラムにお寄せいただいた作品の中から、心に残る手紙を前号に引き続き2編、ご紹介します。

認知症の父へ

定年退職の日の夜、あなたは美容師だった母に土下座をしてこう言ったそうですね。「お前のお陰で今まで仕事を続けてこられた、ありがとう。」そう言って涙を流しお礼を言ったあなたを残して、十三年前に五十八才の若さで天国に旅立った母。最愛の母のいない家で一人暮らしをしているあなたを見て、母はきつそうに言っていると思いますよ。「料理も洗濯も相変わらず上手ね。」

(津市 K・M から)

夫へ

気が付けば口から出るのは多くの願い。毎日仕事で疲れ切っている、雇われない主婦という色眼鏡で私を見ずに、常に共にがあなたの歩み。もしかしたら私自身が色眼鏡をかけていたのかもしれない。多くの願いより大切な事、大切な家族。気を付けて良かったよ。これからはお互いに、ありがとうと一言より大きくて深い幸せを。今日までも、そして明日からも。

(松阪市 T・A から)

つばさ

情報紙

～男女共同参画社会の実現をめざして～



▲ 美杉町に対する熱い想いを語ってくれる坂本幸さん(左)



▲ 真剣な表情で講義を受講するパソコンセミナー受講生のみなさん



▲ ヘルスメイトさんに教わりながら料理づくりを楽しむ男性料理教室参加者のみなさん

主な内容 津市男女共同参画推進条例・男女共同参画都市宣言
まちを元気にする男女(なかま)たち
～第1回: 坂本 幸さん～
男女共同参画パソコンセミナー・れぽーと
男性料理教室インタビュー
ぶらりライブラリー

2007.9 NO.3

津市

平成19年3月
津市男女共同参画推進条例
が制定されました！

津市は、平成19年3月に「男女共同参画都市」宣言を行い、「津市男女共同参画推進条例」を制定しました。今後、都市宣言及び推進条例の理念に基づき、男女が支え合い、いきいきと暮らせるまちを目指して、さまざまな施策が実施されます。

今回はその条例の概要をご紹介します。

男女共同参画推進条例の概要

前文では、社会のあらゆる分野において、住民と事業者のみなさん、市のすべてが、積極的に男女共同参画の推進に取り組むことにより、男女が個人として尊重され、自らの意思によって個性豊かで多様な生き方の選択ができるまち津を築き、男女共同参画社会を実現しようという強い決意を明記しています。

男女共同参画社会実現のための

4つの基本理念

- 1 男女が、性別により差別されることなく、個人として個性と能力を十分に発揮することができる機会、また多様な生き方の選択をすることができる機会が確保されるとともに、個人としての人権が尊重されること。
- 2 男女が社会の対等な構成員として、職場、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野における活動に参画し、かつ、責任を分かち合うこと。
- 3 社会における制度または慣行が男女の社会における活動の自由な選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されること。
- 4 男女が社会の対等な構成員として、本市における政策または事業者における方針の立案及び決定の場に共同して参画できる機会が十分確保されること。

男女が支え合い、いきいきと暮らせるまち津を目指して



私たちが目指すべき姿

職場では

- ◆個人の意欲、能力、個性等が適切に評価され、性別を理由とする差別のない職場環境であること。
- ◆仕事と家庭その他の活動とを両立させることができる職場環境であること。
- ◆男女の身体的・精神的諸問題に対応でき、適切な健康管理が行われる職場環境であること。
- ◆セクシュアル・ハラスメントのない安心して仕事をするができる職場環境であることなど。

地域では

- ◆それぞれの行動や考え方が尊重され、男女がともに意思決定の場に参画することができる地域であること。
- ◆男女の人権が尊重され、差別なく平等に諸活動に参加し、その企画や実践にかかわれる地域であること。
- ◆女性の積極的な参画により、その多様なリーダーシップが発揮できる地域であることなど。

学校では

- ◆性別による固定的な役割分担意識に捕らわれず、それぞれの個性や人権を大切にする子供が育つ学校であることなど。

家庭では

- ◆性別による固定的な役割分担意識に捕らわれず、男女が協力し合い、それぞれの個性を尊重し、「その人らしさ」が大切にされる家庭であることなど。

条例のキーワード

◆ セクシュアル・ハラスメント

性的な言動に対する相手方の対応によって、相手方に不利益を与え、または性的な言動により相手方の生活環境を害すること。

◆ ドメスティック・バイオレンス(DV)

配偶者や親密な関係にある者に対して、身体的または精神的な苦痛を与える暴力的行為。

◆ 事業者

津市の区域内において事業活動を行う個人及び法人その他の団体で、企業、農林水産業や商工業等の自営業者、各種団体など。

◆ 積極的改善措置

社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に関し、男女間の格差を改善するために必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、その機会を積極的に提供すること。



津市男女共同参画推進条例

4つの基本理念

目指すべき姿

男女共同参画社会実現に向けての取り組み

住民の役割

職場、学校、地域、家庭などあらゆる分野で、男女共同参画を積極的に推進します。

事業者の役割

職場、事業活動において、男女共同参画を積極的に推進します。

市の役割

地域の特性を踏まえ、男女共同参画の視点に立って、あらゆる施策を総合的に策定し、実施します。

協力・連携して、男女共同参画を推進します

男女が支え合い、いきいきと暮らせるまち津

条例とともに、津市は、平成19年3月29日に男女共同参画都市を宣言しました。

男女共同参画都市宣言

私たち津市民は、男女がともに、豊かな自然と文化を育み、男女共同参画が推進される魅力あるまち「津」を築くため、次の基本理念に立ち、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

- 1 男女がともに、それぞれの性と人格を尊重しあい、互いを思いやるまち「津」をめざします。
- 1 男女がともに、一人ひとりの個性と能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるまち「津」をめざします。
- 1 男女がともに、一人の人間として自立し、生き生きと暮らせるまち「津」をめざします。
- 1 男女がともに、平和な社会を願い、友情の輪を世界へ広げるまち「津」をめざします。

平成19年3月29日

津市

津市男女共同参画推進条例は、津市ホームページ <http://www.info.city.tsu.mie.jp> で市役所のご案内 ⇒ 各部・課ガイド ⇒ 市民部人権課 男女共同参画室 から、ご覧いただけます。

まちを元気にする男女(なかま)たち

第1回 坂本 幸さん

津市には「知恵と行動力」でまちを元気にしている女性・男性がたくさんいます。しかし、地域ではその存在が知られていても、市全体にはまだまだ知られていないことが多いようです。私たちは、地域で地道に活動されている方々を訪問し、これまでの活動や今後の取り組みなどについて、お話を伺っていくことにしました。

第1回は、美杉町在住の坂本 幸さん。作家、自然農法経営。みえユーモア発明クラブの会員でもあります。私たちは、5月30日に美杉町下之川の坂本さん宅を訪問し、坂本さんの活動や考え、地域に対する思いなどを伺いました。突然の訪問にもかかわらず手厚くもてなしていただき、美杉の自然にも囲まれて、心豊かなひとときを過ごしました。



坂本 幸さんプロフィール

昭和15年 鳥取県に生まれる。
昭和36年 和歌山県高野山にて精進料理を学んでいる時、坂本建二郎氏を紹介される。
昭和44年 坂本氏と結婚し、美杉村(当時)下之川へ。
昭和51年 しめじの栽培を始める。
昭和54年 美杉村広報に「ふるさとの童話」の連載開始。
昭和56年 『美杉村史』編纂に協力する。
昭和58年 同人誌「洞人」を主宰・発行。
昭和62年 第3回手づくり絵本で優秀賞受賞(三重県)。環境問題に取り組み始める。
平成 9年 『美杉村のはなし』出版。
平成11年 『美杉村見てあるき』を出版(娘と共著)。
平成12年 野草茶・味噌牛蒡・佃煮・漬物を製造販売。久居まつり・津まつりに出店する。
平成16年 山採り十年番茶が朝日新聞に紹介された縁で、知的所有権を取る。東久邇宮記念賞受賞。また、みえユーモア発明クラブの会員になる。
平成19年 「津市民文化」誌の編集委員になる。薬用菊の栽培農家の代表になる。

1 ふるさと 美杉の昔話を残したい

私は鳥取県生まれ。高野山で精進料理を習っていた時、夫を紹介され、結婚して美杉に来ました。

子どもが小さかった頃、テレビアニメで『日本昔ばなし』が放映され、子ども達は夢中になって見ていました。それを見て、この子たちがいずれ美杉を離れていった時、自分たちの故郷にも面白い歴史や昔話、伝説があるということを知ってほしいと思い、美杉の昔話を集めて書こうと決意しました。

ちょうど『美杉村史』編纂に協力している時でした。村の広報の方からもお話がありましたので、「ふるさとの童話」と題して、月1回約7年連載させてもらいました。

当時、私は車に乗れませんので、バスや名松線を乗り継ぎ、それから徒歩で、村の全地区を取材し、お年寄りからお話を聞きました。そして、子育てやしめじ栽培をしながら、原稿を書き続けました。

2 ふるさと 美杉の山川を守りたい

その頃、村にゴルフ場開発計画が持ち上がりました。ゴルフ場ができると、農薬や化学肥料、合成洗剤などで川が汚れます。私は反対運動に立ち上がりました。美杉村の自然という貴重な財産を、未来の子ども達に残すために反対運動を起こしたんです。

近所38名の女性の反対署名を集め、行政に持っていきましました。すると、行政は言いました。「でも、あんたも(農薬や合成洗剤を)使っとるやろ?」

少ないけれども、正直なところ私も使っていました。「人に言う以上、これからは私も使うまい」—そう決心し、以後今日まで、農薬、合成洗剤の類は一切使わず来ています。

後年、また地域の近くでゴルフ場開発が持ち上がりました。地域で孤立する中、主だった人の家を1軒1軒そっと訪問することもありました。この地道な努力もあり多数決の結果、住民の6割が建設に「N o」の答えを出し、2つのゴルフ場は撤退しました。

3 ふるさと 美杉の文化を伝えたい

ゴルフ場問題の中で、広報への連載は中止せざるを得なくなりました。しかしこの環境問題を通して、私の郷土への想いはますます大きくなりました。美杉の価値ある自然・歴史・文化・民俗を残したい—。

その想いはまず、「ふるさとの童話」をまとめた『美杉村のはなし』という1冊の本として完成します。その2年後には、昔話を取材する中で知った村内の名所・旧跡などをまとめた『美杉村見てあるき』を出版しました。この本のイラストは娘が描いてくれました。

坂本 幸さん 津市げんき大学で 座楽講師を務める



7月14日、津市久居ふるさと文学館において「津市げんき大学第2期基礎講座第3講」が開催されました。20人余りの受講生を前に、坂本幸さんも座楽講師の一人として、「新しい発想でモノを創ろう」をテーマに、自身の活動やモノ創り、美杉への想いについて、熱く語りました。

4 ふるさと 美杉の自然を生かしたい

環境を守る活動をする中で、私は「土地の大自然を生かしたもので何か出来ないか」と考えるようになりました。自然を壊すのではなく、生かしていきたい。そこで名張の友人に相談したところ、「野草茶」づくりを勧められました。これが商品づくりのきっかけです。

平成12年、製造許可を取って、野草茶・味噌牛蒡・佃煮・漬物を作り、国道165号線沿いにある「おこしなして」市場で販売を始めました。

平成16年、「山採り十年番茶」が朝日新聞に掲載されました。この記事が、当時県内で「知恵とアイデアを活用したまちづくり」の活動をしていた堀内司先生の目に留まりました。先生の勧めで、製品に「知的所有権(※)」を取得し、「東久邇宮記念賞(※)」を受賞しました。



そして先生を中心に「みえユーモア発明クラブ(※)」が発足しましたので入会しました。会の勉強会には、夫とともに毎月参加しています。

今までに知的所有権を取得したものは「山採り十年番茶」「野草茶」「柿で作った水飴」「ビューティーハーブ」などの7点です。

私の商品は、大量生産はしません。自分の身の回りで、自然の素材を生かした、安心安全なものを使っているからです。

商品は、道の駅美杉で一部販売しています。津まつりや久居まつりにもイベント参加しています。

5 ふるさと 美杉の良さを広めたい

平成18年5月、「グリーンベアクラブ」という自然食品を扱う会社から商品の通信販売を勧められました。思いがけない誘いに驚いたものの、作らせてもらうようになりました。おかげさまで、遠くの方々からも注文を頂いています。

また商品だけでなく、実際に遠方からわざわざ我が家を訪ねて来てくださる方もいます。昨年は1年で100人くらい来てもらいました。先日も大阪から若い女性が9人、泊まっていかけました。外部の人が美杉とつながりを持ち、美杉のことを大切に思ってくれるようになったら嬉しいです。

(本文は、5月30日坂本幸さん宅での取材と、7月14日「津市げんき大学」での講演内容をもとに、再構成したものです。)

受講された方にインタビュー

①参加の動機は?
②坂本幸さんについて感じたことは?
③あなたがアイデアを出したい分野は?

①まちづくり活動をしているので。 ②美杉を愛し、地域に根ざし、地域のために活動したことが素晴らしい。女性としてすごい。③今は特にない。(30代・女)

①実行委員です。 ②自分の信じることをやり遂げるとも強い女性だと思う。③伝統工芸品の分野で取り組んでみたい。(20代・女)



「知的所有権」とは?

発明・発見、芸術・学術、商標など、人間の知識活動から生じるすべての権利。「特許」よりも、広範囲に、安く、自分の著作やアイデアを、模倣・盗用などから保護することができる。

「みえユーモア発明クラブ」

堀内 司氏が、三重県下の大衆発明家の知恵・アイデアを知的財産にする指導をするため、平成16年発足。毎月1回鈴鹿市で交流会を持つ。

「東久邇宮記念賞」

小発明に尽くした人を顕彰する権威ある賞。東久邇宮盛厚殿下の遺言により制定された。

めざせ再チャレンジ やさしいパソコンセミナー・レポート

本年度の津市男女共同参画セミナーは、今までと趣を変え、初心者向けのパソコンセミナーとなりました。251人の男女市民の皆さんからの申し込みがあり、厳正な抽選の結果、20名の女性の方が受講されました。

6月7日から毎週木曜日の午前中全5回にわたり、津市地域情報センターにおいて、2人の講師からパソコンの基礎を学びました。

第1回	6月 7日(木)	パソコンの基本操作①
第2回	6月14日(木)	パソコンの基本操作②
第3回	6月21日(木)	インターネットの活用
第4回	6月28日(木)	電子メール
第5回	7月 5日(木)	暮らしに役立つ情報の収集方法



受講生のアンケートから

6月14日(木)、私たち編集スタッフは、パソコンセミナーの教室におじゃましました。当日は激しい雨だったにもかかわらず、多くの女性が、朝早くからIT研修室に集まっていた。中にはお子さん連れの方もいて、託児ルームにお子さんを預けてから受講されていました。

講義が始まると、誰もが真剣そのもの。1人1台貸し出された研修用のノートパソコンを前に、テキストにメモを取りながら、マウスやキーボードを操作していました。少しでも不明な点があると、熱心に質問し、2人の講師がチームワークで、個別指導にもあたっていました。

講義が終わっても、一部の人は、IT市民広場に置かれたパソコンを利用して、引き続き、パソコンの練習をしたり、講師にさらに質問したり、意欲的に学んでいました。

このセミナーを希望されたのは？

- ・パソコンを始めようと思っていた。
- ・これからの時代を生きるのに必要と思ったから。
- ・自分の知らなかった知識を1つでも学べたらいいなと思ったから。
- ・独学なので、操作があっているか確認したかった。
- ・託児があり、無料だったから。
- ・子どもが幼稚園に入り、何かを始めたかった。
- ・仕事で必要なため。
- ・書類作成できるようになり、仕事に生かしたい。
- ・仕事を休まず受講できるスケジュールだったから。

セミナーで得た知識や技術を今後どんなことに生かされますか？

- ・仕事や趣味に。
- ・自宅で使ったり、仕事でホームページを作ったりしたい。
- ・仕事に使いたい。
- ・仕事面でも少しずつ生かせたらと思う。
- ・インターネットでの検索。デジカメやビデオなどの編集。
- ・住所録を作ったりネットショッピングを楽しんだりしたい。
- ・文章作成や家計簿をパソコンで行いたい。
- ・自治会の文書の作成。
- ・小学校PTAの文書の作成。

その他の感想

- ・今まで応募しても選ばれず、今回初めて、このセミナーに参加することができました。嬉しく思っています。毎回大変勉強になり、家でパソコンにふれる回数が増えました。もっと早く参加したかったと思います。

津市地域情報センターとは

津市サイエンスシティ内あつピア1階にあります。午前9時から午後5時まで。土日・祝日も開館しています。(年末年始を除く)

IT市民広場には、20台近くのパソコンが、無料で利用でき、専任スタッフからアドバイスも受けられます。

パソコンでわからないことを電話等で相談できます。【ITヘルプデスク】
TEL&FAX 233-0099
Email: webmaster@it.city.tsu.mie.jp



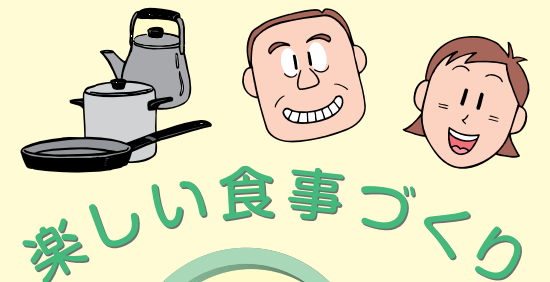
取材記者メモ

熱心な受講風景から、女性の再チャレンジへの意欲を感じました。しかしこの講座を終えた女性にとって、社会はこの意欲を受け止められる体制になっているのでしょうか。旧態依然とした社会のままでは困ります。女性自身も、技術にさらに磨きをかけ、自ら道を切り開く努力と方策が必要だと思いました。また、今後、このセミナーが、男性を含めた地域や職場への参画のきっかけの場になればと感じました。

津市芸濃町の男性料理教室をインタビュー！

♥感謝の気持ちを込めて

6月7日、津市社会福祉協議会芸濃支部主催の男性料理教室を訪問いたしました。なかなか日頃台所に立たないお父さん(15名)と一緒に津市食生活改善推進協議会芸濃支部(通称ヘルスマイト)のメンバー(6名)が参加。「あれ！男性と料理？」と思われる程手際よく調理される姿を横目にみながら、わきあいあいと料理づくりを楽しむ風景をインタビューしました。



本日の献立

- ★サバの中華風味噌煮
- ★あさりのスープ
- ★キノコとワカメのソテー

参加された方からコメントをいただきました。

- 男性料理教室に入った動機は？
- 料理の味は？
- お家で、習った料理作りますか？



川口 輝男さん(70才)から！

- はじめての参加。娘が申し込んだ。
- 来る前は心配だったが、こんなに楽しいとは思わなかった。これからもまた来たい。
- 家では、ほとんど料理はしない。ラーメン作ったり、大根刻んだりするくらい。
- 家事は「あかん」と言われるので、家ではあまりしない。

長谷川 幸男さん(67才)から！

- ここでの男性料理教室は3年目(社協の主催になって2年目)。
- 参加者の半分は、前回から継続して受講している人。
- 健康づくりのためと、いつか一人になった時のために始めた。
- 興味ある献立を毎回用意してもらってありがたい。
- 実際に料理してみて、やはり手間がいることがわかり、感謝の気持ち。



松田 実生さん(70才)から！

- 昔は大家族が多く、料理などする必要はなかったが、今は自分たちだけの生活が、近所でも多くなった。
- 来て、見ているだけでも勉強になる。
- 失敗しながら上手になる。



ヘルスマイトの皆さんにもインタビュー！



津市食生活改善推進協議会芸濃支部活動風景
津市内各地区で女性を中心に活動しています。
みんなで楽しい食事づくり、健康づくりをいっしょに！

男性料理教室の取材を終えて

調理実習の姿は、家族への感謝の気持ちがひしひしと感じられ、自分でしなければという思いが伝わってきました。

私達ヘルスマイトは、男性料理教室・小学生の通学合宿・イベントなど、さまざまな所で活躍しています。